令和８年度　学校教育目標・学校経営方針・努力事項

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校

１　学校教育目標

○思いやる　　豊かな人間性〔徳〕
○進んで学ぶ　　確かな学力　〔知〕
○体をきたえる　　健康・体力　〔体〕

・学校行事、学年行事、学習活動等を計画・提案する場合、学校教育目標における位置づけを明確にし、目指す児童像の具現化を図る。

２　学校経営方針

⑴ 社会に出て自立できる、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成
⑵ 児童の実態を基盤とした教育活動の創造
⑶ 家庭や地域と連携・協働し、信頼される学校づくりを推進
⑷ 学校教育目標の具現化のための全教職員の経営参画意識の醸成
⑸ 指導力・授業力向上を目指し、互いに学び合う教職員集団の形成
⑹ 教職員のメンタルヘルスの保持増進、業務改善を目指した「働き方改革」の推進

目指す学校像

一人一人の瞳が輝き、あたたかい学校
～自己肯定感を高め、元気なあいさつと歌声の響く学校～

目指す児童像

自分も人も認め、大切にする子
学び合う子
失敗を恐れず挑戦する子

※失敗した自分、うまくできない自分も「自分」として認めることができるような自分への自信をつけてほしい。自分と考え方や受け止め方が違う人も大勢いることを知り、認められるようになってほしい。

目指す教師像

・共に学び合い、指導力を高める教師
・公平で温かさ、優しさを持ち、豊かな人間性を持つ教師
・自身の仕事に誇りと責任を持った教師

3　努力・重点事項

⑴ 基礎的な学力の定着と思考力、表現力、学習意欲の育成

①基礎的・基本的な学力の確実な定着

T・T 授業や少人数指導の実施、のびのび算数教室、鶴っ子サマースクール、コバトン復習シート等の活用

②児童に学びたいと思わせる授業

児童の実態に合わせた授業内容・指導方法の改善

学び合い学習を通して一人残らず学ぶ教室を実現する。

③すべての教育活動での「聴くこと」を大切にした指導

④鶴二ぐんぐんノート＆読書校長表彰の実施

・学習規律や生活習慣の確立

・ICT 機器を活用した授業の推進

・各種学力学習状況調査等の結果分析の活用

・読書活動と音読の推奨

・地域と連携・協働した教育活動の推進（PTA 活動、学校応援団、鶴二小校区地域支え合い協議会、地域企業、鶴ヶ島市第二地区健全育成推進協議会、ゲストティーチャー　等）

⑵ 生活習慣の向上と豊かな心、健康な体づくり

①道徳教育、人権教育の推進（いじめの未然防止・不登校解消）

②思いやりの気持ちをもった優しい言動の奨励

③素直に感動する心の育成

④「早寝、早起き、朝ごはん、朝うんち」の徹底

⑤あいさつと返事の励行

⑥しっかり声を出して楽しく歌える場の設定と指導

⑦子どもの全力を引き出す体育授業　**〔合言葉〕一生懸命はかっこいい**

⑧藤中学校区重点種目と本校（握力・上体起こし）重点種目の対策

⑨外遊びの奨励と歯磨きタイム（予防と治療率向上）の実施

⑶配慮を要する児童への指導や支援の充実

①授業や教室のユニバーサルデザイン化・SSR の積極的な運用

②校内就学支援、教育相談・生徒指導（いじめ対策委員会）部会等の組織的対応や支援の充実（丁寧かつ迅速な初期対応）

③双方向の報告・連絡・相談・見届け（見守り）・確認

④なかよし学級児童との交流授業等の実践と通級指導教室への接続

⑤ヤングケアラーや児童虐待の早期発見と地域・関係諸機関と連携した支援

⑷安心・安全な教育環境の創造

①定期的な安全点検の確実な実施と迅速な修繕

②清掃活動の充実

③季節の変化に合わせた花壇の植栽・栽培園の充実（緑のカーテン）

④自助の力の育成〔合言葉〕自分の命は自分で守る。

⑤共助の力の育成　一時避難所設営に向けた取組と環境整備

⑥交通安全指導員、スクールガード、こども SOS の家との協力・連携

⑸家庭・地域との連携・協働の推進

①教育活動等に関する情報発信の充実（各種たより、学校 HP の充実）

②家庭学習の習慣化（自主学習ノートの推進）・読書活動の推進

③幼保小中連携（情報＆行動連携、小１問題、中１プロブレムの解消）

④コミュニティスクールのさらなる推進

⑤「地域と共にある鶴二小」の創造

・迅速かつ適切な初期対応。言葉遣い等の接遇。

⑥持続可能な PTA 活動・学校応援団組織

４　その他

⑴教育公務員としての資質・指導力向上のために、自己啓発に努める。

① 学校課題研究への取組、公開授業・研究授業の実施

② 職員室等での情報交換（ベテラン教員の豊富な経験と指導方法と若手教員の斬新な発想と ICT 活用能力の融合）

③ 読書の推進や教材（教具・指導案等）の共有（整理・保存）

④ 倫理確立委員会等で当事者意識を醸成し教職員不祥事防止

⑵全教職員による学校運営への積極的な参加

①自らの職務（主任や分掌等）や職責を確実に遂行する。

②児童や学校のために自分は何ができるか、何が必要かを考え、実行する。

③改善策、支援策等を積極的に具申・共有し、組織的に対応する。

⑶働き方改革（業務改善）の推進

※子どもたちと向き合う時間を増やす、教職員の「負担感」の軽減を目指す。

①風通しの良い職員室、働きやすい温かな職場を全員で創りあげる。

・何でも相談できる、問題を共有できる教職員集団の形成

・報告、連絡、相談、見届け、確認で共通認識・組織的対応

②全教職員のメンタルヘルスの保持・増進に努める。

・業務時間の適切な管理

※１箇月時間外等時間 45 時間以内、年間における１箇月時間外在校等時間の平均時間を３０時間程度にする。

～鶴ヶ島市立小・中学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画より～

・「業務改善会議」の積極的な実施

※教科・領域部会で方向性を定め、全体の了承のもとに実行・実施する。

※学校行事終了後の振り返りを次年度の計画へいかす。

※学校行事の（準備や運営を含む）見直しと精選を継続して行う。
目的と必要性を考え、内容や方法を見直す。（削減ありきにしない）

・計画年休等含め、年間 10 日以上の取得を目指す。

※計画年休は毎学期：１日取得、年間：３日取得を目標とする。

◎「お互い様の気持ち」で助け合い「休みやすい」環境を。

◎児童の学習が停滞しないよう、互いに授業を引き継ぎ合い、授業を進める。（年休時計画を早めに提出）

※自身はもちろん、家族を大切にする（育児・介護・行事参加）。

・趣味、旅行、読書等で見聞を広げ、休養する時間を確保する。

・ノー残業デー、ふれあいデーの確実な実施

③安心・安全・清潔な教育環境の整備

・職員室や印刷室、特別教室等の美化や整理・整頓を心掛ける。

※使いたいときに、使いたいものが、速やかに正常に使える状態

※どこに、何が、いくつあるのかを把握し、適切な予算執行を

・ケガや事故の未然・再発防止のための安全点検と教育環境整備

④開かれた教育課程の実現　合言葉「すべては子どもたちのために」

・地域の有益な教育人材・地域企業との連携・協働

・持続可能な PTA 活動組織＆学校応援団、鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会、地域企業等とのコラボ授業の実施

・災害発生時の一時避難所としての学校防災機能の整備の推進

・鶴二小の地域コミュニティーとしての価値を向上させると共に、地域教育力を鶴二小に結集させ、開かれた教育課程を実践する。